

# ドイツ社団法人日本語普及センター機関報告 (1998/99)

Sprachzentrum four Japanisch e.V

石 登紀子

## 1. 沿革

1992年6月、日独文化交流、日本語の普及を目的に趣旨に賛同する有志がドイツ社団法人日本語普及センターを東京で設立。2年間の準備期間後、94年4月フランクフルト市に開校。現在まで5年3カ月、16学期を終了したところである。

## 2. 事業内容

①日本語クラス（初級から上級まで） ②日本人対象のドイツ語クラス（ベビーシッター併設クラスもあり）③日本語教師養成講座 ④文化講座（書道、カリグラフィ、ドイツ語で読む童話、オペラ等）④翻訳者養成講座 ⑤教育休暇利用の日本セミナー ⑥英語（国際学校生）

## 3. 日本語一スの内容

1年を春、秋、冬の3学期に分け、①レギュラーコース（週1／週2）②集中コース（2週間／3週間）③企業派遣 ④個人レッスン（随時）

## 4. 受講者数（98年4月～99年3月）

(98年4月～99年3月) 日本語	304名	(開校～現在迄) 1580名
ドイツ語	119名	384名
英語	10名	10名
日本語教師養成	16名	50名
翻訳者養成	14名	26名
文化講座	120名	130名
合計	583名	2180名

## 5. 講師数

常勤講師 3名（日本語2名、ドイツ語1名）

非常勤講師 18名（日本語10名、ドイツ語5名、英語1名、文化講座2名）

## 6. 現在及び今後の検討事項

- ・日本語普及センターのオリジナルテキストの改訂（99年4月から着手）
- ・通信講座（日本語）の作成
- ・広報活動の強化
- ・日本セミナーの拡充とドイツセミナー（日本人対象）の着手
- ・養成講座の継続と充実
- ・多様な受講生への対応
- ・文化講座の発展